

60歳からの

- ☑ 学び
- ☑ 社会参加
- ☑ 仲間づくり



名古屋市

鯨城学園

こじょうがくえん



ひとに、
ひたむきに。

社会福祉法人
名古屋市
社会福祉協議会

鯨城学園における三つの柱

名古屋市では、名古屋市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画「はつらつ長寿プランなごや2026」を策定し、一人ひとりが生きがいや役割を持ち、助け合いながら暮らしていくことができる「地域共生社会」の実現に向けて、地域包括ケアシステムの深化・推進を図りながら、各種の施策に取り組んでいるところです。

そうした中で、高齢者が、新たな学習の機会を通じて生きがいを高めるとともに、学習の成果を地域社会でさまざまな形で実践し、積極的な役割を果たしていただくために、名古屋市鯨城学園を設置しています。

学園では、設置目的を達成するために三つの柱を教育目標に掲げています。

〈教育目標として掲げる三つの柱〉

第一の柱

各種講座を通じて、現代社会についての理解を深めるとともに、専門分野に関する知識や技能を高める

高齢者の多様なニーズに対応した「暮らし」「国際」「健康と福祉」「音楽」「園芸」「陶芸」「美術」「歴史と文化」の8専攻を開設しており、それぞれの専門分野に関する知識や技能を高めることができます。さらに、各専攻共通の「教養講座」では、心身の健康及び現代社会について幅広く学べるカリキュラムを用意しています。

第二の柱

クラブ活動やクラス活動などの自主活動を通じて、仲間作りや相互学習、組織運営の体験を深める

健康で心豊かな生活を送るためには、幅広く生涯にわたっての交友関係を築くことも重要な要素です。学園では、クラス活動、クラブ活動、行事など学園生活のあらゆる場面において、仲間づくりを重視した働きかけを行っています。

第三の柱

学習、自主活動の成果を社会的活動への参加に結びつける

地域活動学習講座や地域ミーティングなどにより、学生の社会的活動への参加意欲の向上を図ります。また、地域活動をサポートする専任の職員を配置するなど、在学中から卒業後まで、学生が安心して活動できるよう支援しています。



何を学ぶの

どこにあるの

何ができるの

詳しくは
コチラ →

鯨城学園の学園生活

年間行事

修業年限は2年。

登校は長期休業期間を除き週に2日～3日程度、年間登校日数は約70日～90日です。



[1週間の時間割]

一例 同じ専攻で入学した太郎さんと花子さんの場合

親の介護があるので週2、3日くらいが通いやすいです。



太郎さん
(Aクラス)

火曜日午前のクラブを選択

1年生	午前	午後
月曜日		
火曜日	クラブ	
水曜日	共通講座	専門講座
木曜日		
金曜日		

2年生	午前	午後
月曜日		
火曜日	クラブ	
水曜日	専門講座	
木曜日		
金曜日	共通講座	

学生会の委員になって仲間との交流を深めています。



花子さん
(Bクラス)

木曜日午後のクラブを選択

1年生	午前	午後
月曜日	学生会	
火曜日		
水曜日	共通講座	
木曜日		クラブ
金曜日	専門講座	

2年生	午前	午後
月曜日	学生会	
火曜日		
水曜日		
木曜日		クラブ
金曜日	共通講座	専門講座

※このように学生会を除いて1年生で週2日の出校だった場合は、2年生で週3日の出校となり、逆に1年生が週3日の場合は、2年生で週2日の出校となります。

夏休み:7月中旬～9月中旬

冬休み:12月下旬～1月中旬

春休み:3月中旬～4月上旬

10月

11月

12月

1月

2月

3月

体育祭

文化祭

陶芸専攻の様子

学長講話

[学生会]

クラスごとに選出された委員がさまざまな行事を企画・運営します。

修学旅行

卒業式

A クラブ活動とは?



学生は、全員がいずれかのクラブに所属し、その成果を文化祭やロビー展などで発表します。それぞれの活動は、上のQRコード※をスキャンして、学生会HPからご覧いただけます。

※QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です

[クラブ活動]

- ・重要文化財研究
- ・写真
- ・天文気象
- ・なごやか絵手紙
- ・郷土史
- ・マジック など

計32クラブ

C 専門講座とは?

各コース・専攻ごとに、講義室、実習室、実習施設などで受講します。講座の例は、このパンフレットの06～09ページに掲載しています。

B 共通講座とは?

鯉城ホールにて各学年全員で受講する、鯉城学園ならではの授業です。教養講座と地域活動学習講座があり、それぞれ複数の講座により、幅広い教養を身につけます。

[講座の例]

■ 教養講座

- ・名古屋の地名で遊ぶ
- ・ルーブル美術館への招待
- ・熱中症とその予防
- ・よく耳にするお薬の疑問
- ・健康寿命延伸はどこまで可能か
- ・木曾三川今昔 など

■ 地域活動学習講座

- ・認知症サポーター養成講座
- ・高齢者の生きがいと地域活動
- ・高齢社会と成年後見制度
- ・市民が楽しいまちづくり
- ・災害は必ずやってくる。
- ・地域福祉のすすめ など



暮らし専攻

定員 各学年 48人

身近な問題から情報社会まで幅広く学び、健康で安全なサステナブルな暮らしについて考えます。

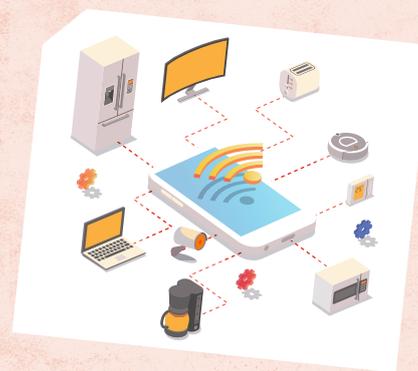
講座例

- ・くらしとSDGs
- ・遺伝子組換え作物の今とこれから
- ・デジタル社会での暮らし **P**
- ・うみがめの命をつなぐ
- ・高齢者を取り巻く法律問題
- ・名古屋市における大気汚染の現状と課題
- ・エシカル消費とは？
- ・災害に備えて知っておきたいスマホ講座
- ・おいしく食べて健康に
- ・フェアトレードと環境

P PICK UP 講座 デジタル社会での暮らし

◆ ICTから学ぶ、これからの暮らしを快適に過ごすためのノウハウ

スマートフォン、電車やバスに乗る際のICカードなど日常生活のあらゆる場面でICTが活用されています。また、超高齢社会において人手不足などが懸念される介護や医療へもICTの導入が期待されています。講座では、ICTによる快適に暮らせる社会や健康に暮らせる社会の実現についてわかりやすく解説します。



国際専攻

定員 各学年 96人

外国人の講師も招きながら、幅広く教養を深め、豊かな国際感覚を育みます。

講座例

- ・世界はこれからどこへ行くのか **P**
- ・国際経済の今～貿易政策に絡めて
- ・名画を読み解く～ルーブル美術館の名画～
- ・日本とアジアの国際関係
- ・環境大国アイスランドから学ぶ
- ・ミャンマー問題
- ・ヨーロッパの戦争と難民
- ・イギリスの歴史と文化
- ・日米文化の特質
- ・世界の共通課題を扱うESD

P PICK UP 講座 世界はこれからどこへ行くのか

◆ 民主主義 VS 権威主義

2025年アメリカ大統領に返り咲き「Make America Great Again」を推し進めるトランプ大統領。2030年までの通算5期目に入ったロシアのプーチン大統領。国家主席に異例の3選された中国共産党総書記の習近平国家主席。強まる権威主義、衰退する民主主義。世界はどこに向かおうとしているのか。新聞社の論説主幹を講師に迎え分かりやすく解説します。



健康と福祉専攻

定員 各学年 96人

座学と実技を通して、生涯にわたって、介護知らずで心身ともに健康な生活を目指します。

講座例

- ・健康食品で健康長寿は延びるのか
- ・ジャイロキネシス ～イスで伸び伸びストレッチ～
- ・コグニサイズ入門
- ・認知症の介護
- ・認知症予防のための食事
- ・太極拳
- ・ストレッチ体操 **P**
- ・福祉とボランティア ～誰もが支え合う共生の時代に向けて～
- ・リズム体操

P PICK UP 講座 ストレッチ体操

◆無理せず、持続してできるストレッチ体操を学ぶ

生まれつき身体がかたいので、これ以上柔らかくするのは無理であるとあきらめたり、また、柔軟性のトレーニングは「痛い」「つらい」からやりたくないと考えている人が多いと思います。しかし柔軟性は個人差・男女差はあっても、努力次第で確実に効果が現れ、決して苦痛を伴うものではありません。ストレッチ体操は筋肉・腱・靭帯をゆっくり反動つけずに伸ばし、しばらく同じ姿勢を保つ柔軟性を高めるトレーニングです。



音楽専攻

定員 各学年 96人

クラシックやJAZZ、懐かしい歌を歌って心身の健康を保ちます。

講座例

- ・世界の名曲
- ・音楽健康講座
- ・民謡に親しむ
- ・クラシックを楽しもう
- ・カンツォーネあれこれ
- ・トーンチャイムを楽しもう **P**
- ・JAZZに親しむ
- ・琉球かれんにふれて
- ・思い出の名曲

音楽専攻での学びの特徴

- ◆さまざまなジャンルの音楽をわかりやすく学びます。
- ◆講師の丁寧な指導のもと、いろいろな曲をみんなで楽しく歌います。
- ◆音楽一般についての理解を深め、知識や歌唱力の向上をめざします。

●歌に加えて…

- ・ミニキーボードやトーンチャイムの演奏
- ・音楽健康講座
- ・音楽療法
- ・簡単なダンス
- ・手遊び歌 等

●学びに心配はご無用

- ・楽譜が読めなくても OK!
- ・楽器が弾けなくても OK!
- ・少々音が外れていても OK! Let's sing.



P PICK UP 講座 トーンチャイムを楽しもう

◆トーンチャイム

普及型のハンドベルとして開発された楽器で、美しい音色をみんなで共有し、ひとつの音楽を創り上げることができた時は、大きな感動を覚えます。また、その美しい余韻と柔らかく心に沁み入るような音色から、音楽療法にも使用されます。トーンチャイムの素晴らしい音色にぜひ触れてください。



園芸専攻

定員 各学年 48人

教室での座学と農園実習などの体験を通して、基礎的な知識と技能を習得します。

講座例

- ・バラの歴史と栽培
- ・斑入り植物の楽しみ方
- ・たねダンゴづくり
- ・桜の文化史
- ・土／肥料／害虫の話
- ・名古屋朝顔
- ・樹木の剪定実習
- ・農園実習（野菜の栽培）
- ・苔玉の楽しみ方
- ・山菊の盆栽づくり **P**
- ・山野草の楽しみ方
- ・フラワーアレンジメントの世界

P PICK UP 講座 山菊の盆栽づくり

◆ 草木である山菊を、風格のある盆栽に仕立てる

苗から、根の整理、植え替え、枝づくり、摘心、開花とその後の管理に至るまで、一連の栽培方法を学びます。秋になると古木化した山菊の花から、気品のある香りを楽しむことができます。10月には名古屋城菊花大会に出品して、互いに観賞し合い、名人の作品に出会う機会もあります。



陶芸専攻

定員 各学年 40人

作陶の喜びを体験し鑑賞能力を高めます。実習は名東区の「楽陶館」で行います。

講座例

- ・手づくり実習
（ひもづくり、手びねり・タタラづくり）
- ・釉薬および施釉
- ・自由作陶
- ・ロクロ実習 **P**
- ・卒業制作

P PICK UP 講座 ロクロ実習

◆ ひとり一台、ロクロを完備、本格的な創作を楽しむ

ひもづくり、タタラづくりなどの作陶技法の基礎をしっかりと学ぶとともに、下絵付けや施釉（釉薬による色付け）の装飾技術なども含め、これまで陶芸の経験のない方でも本格的な作陶の楽しさと陶芸の世界の奥深さを十分に堪能いただけるカリキュラムを用意しています。陶芸は、生涯の楽しみのひとつとしても広く親しまれており、また、唯一無二の自分だけの創作の面白さを体感できます。



美術専攻

定員 各学年 48人

美術の各領域にわたって知識と実技の基本を学び、観察眼と表現力を養います。

講座例

- ・構図法、配色法
- ・水彩での風景画、静物画の描き方 **P**
- ・心象風景画
- ・パステルで描く
- ・デッサン
- ・卒業制作



P PICK UP 講座 水彩画、風景画、静物画の描き方

◆ 初めての方もOK。本格講師から描く楽しさを学ぶ

すべて水彩画を基本とし、日本画家や洋画家、二科会評議員などによる本格派の講師から学べるのが美術専攻の特徴です。講座では、ものの捉え方や影の必要性、遠近法とバランス(構図)といった基本的な技術を学ぶことができます。絵の上手い下手ではなく、感性を深め、描くことの楽しさ、美術の奥深さを会得できます。

歴史と文化専攻

定員 各学年 96人

郷土の歴史や文化・芸能、社会などの学習を通して、教養と生活の幅を広げます。

講座例

- ・名古屋の歴史と文化財
- ・愛知・名古屋のものづくりの歴史
- ・名古屋をつくった4人 **P**
- ・日本の方言と名古屋ことば
- ・狂言の世界(名古屋能楽堂にて) **P**
- ・江戸時代の名古屋とその周辺
- ・名古屋の昭和30年代
- ・名古屋の歌人たち
- ・名駅の歴史からみた名古屋の鉄道文化
- ・名古屋弁と名古屋人気質

P PICK UP 講座 名古屋をつくった4人

◆ 名古屋をつくった徳川家康たちから、名古屋のナゾに迫る

現在の名古屋市の街づくり(都市計画)に貢献した、徳川家康、吉田禄在(初代名古屋区長)、石川栄耀(都市計画家)、田淵寿郎(名古屋復興の父)の4人をとりあげ、前編と後編の2回でじっくり学びます。広い道路や区画整理といった名古屋のナゾに迫りつつ、今の名古屋がどういう考えでできたのかを深く知ることができます。

P PICK UP 講座 狂言の世界(名古屋能楽堂にて)

◆ 能楽堂を貸し切り、現役の能楽師とひのき舞台に立つ

現役の能楽師を講師に招き、日本の伝統芸能である能楽について学びます。名古屋能楽堂を貸し切りで見学。能と狂言との違いといった基礎知識を得てから、展示室、楽屋、舞台を見学します。白い足袋を履いてひのき舞台に上がるという貴重な体験もできます。伝統芸能への関心を深め、楽しさを実感できる講座です。



鯨城学園のQ & A

◆ Q 入学できるのはどんな人？

名古屋市在住の60歳以上の方です。卒業生も再入学が可能です。(1回まで)

◆ Q いくらかかるの？



授業料[全専攻共通]	年額
授業料	48,000円
専用施設使用料[園芸専攻・陶芸専攻]	年額
園芸専攻 [農園使用料等]	18,000円
陶芸専攻 [楽陶館使用料等]	32,000円

※上記の金額は、2期に分けて半額ずつ納めていただきます。

※上記の他、教材費、実習費、クラブ費(各クラブで決定)、修学旅行費(2年生令和6年度は約31,000円)、クラス費(各クラスで決定)などがかかります。

※楽陶館は、鯨城学園の陶芸専用実習施設で、ひとり一台(40台)ロクロが使えます。

学生会費	金額
入会金	1,000円
会費 [年額]	2,000円

◆ Q 卒業後の活躍の場は？

卒業後は、クラスやクラブを通じた仲間や各区の鯨城会(同窓会組織)のメンバーとなり、さまざまな活動を行っています。



■ 活動例

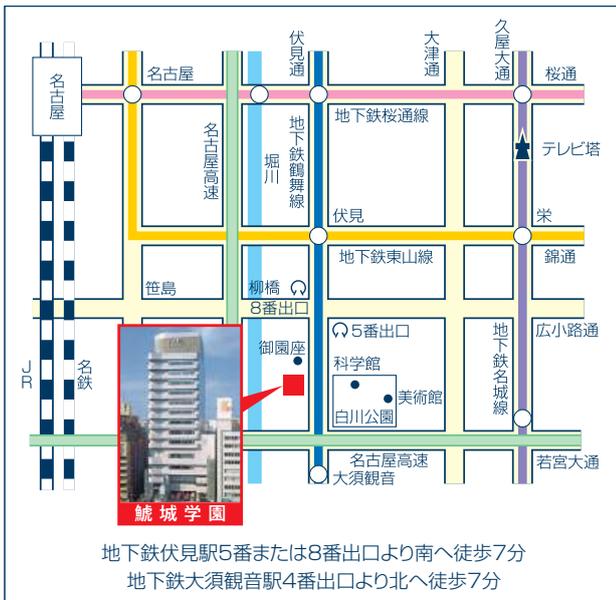
- ・クラブ活動、研修会、発表会
- ・堀川、鶴舞公園クリーンキャンペーン
- ・高齢者施設(喫茶コーナー等)支援活動
- ・ガイドボランティア
- ・鯨城学園図書室運営ボランティア
- ・戸田川緑地の植樹等緑化活動



堀川清掃



OB文化祭



名古屋市 鯨城学園

〒460-0008 名古屋市中区栄一丁目23番13号
(伏見ライフプラザ内)

※駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。

お問い合わせ先

電話 ☎ 052-222-7521

FAX 📠 052-222-7523

mail ✉ kojo@juno.ocn.ne.jp

願書受付期間・受付場所・出願手続きなどについては、ホームページの「おしらせ」欄に記載されます。

<https://kojogakuen.com/>

1階が中消防署の伏見ライフプラザの中にあります。780名を収容できる鯨城ホールをはじめ、講義室、実習室、図書室からラウンジまで、充実した施設設備が整っています。この他に、体験農園および陶芸専用実習施設 楽陶館があります。

学園ホームページ



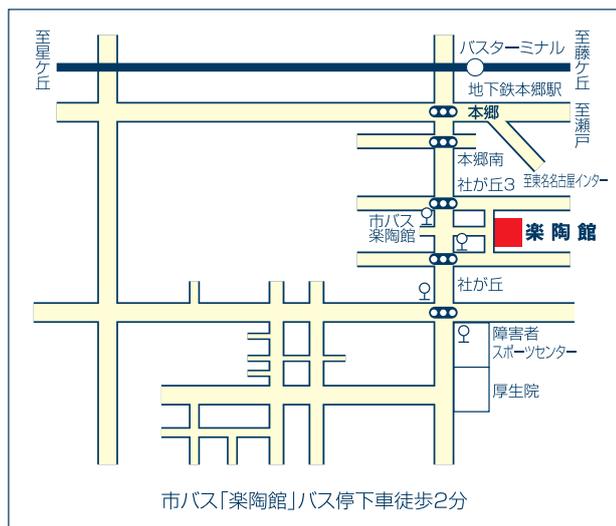
講義室[8階]



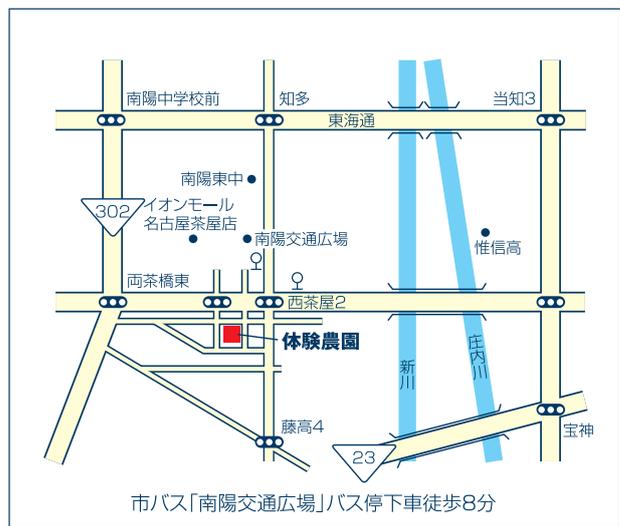
第3実習室[9階]



鯨城ホール[5階]



楽陶館 名古屋市名東区社が丘三丁目1206番地
Tel : 052-701-7211 Fax: 052-715-7227
Mail : rakutoukan@feel.ocn.ne.jp



体験農園 名古屋市港区西茶屋三丁目地内



環境に配慮したFSC® 認証紙と植物油インキを使用しています。

設置者：名古屋市 指定管理者：社会福祉法人名古屋市社会福祉協議会



名古屋市

鯨城学園

こじょうがくえん